

PATENT Attorney®

日本弁理士会広報誌

2015

●「PATENT ATTORNEY」は
「弁理士」のことです。

パテント・アトニー

冬

VOL. 80

- ◎ヒット商品はこうして生まれた
知的財産権
さらさらでも再整髪できるスタイリング剤
「デザインフアクトリ
パウダーロック」
.....
●シリーズ特産品(越前竹人形)
●知っておきたい!「」の技術
●トレンドをつく(藻類バイオマス燃料)
●知財TOYBOX
●知的財産権なんでもQ&A
●漫画「なすびくんのお仕事」
●特許庁からのお知らせ
●JPAA Information



ヒット商品は、こうして生まれた!

ヒット商品を 支えた 知的財産権

VOL.
80

さらさらでも再整髪できるスタイリング剤 「デザインファクトリー パウダーロック」



特 許 第5449580号
商標登録 第5256974号



証し続けたという。スタイリング剤や化粧品は「フリーリング」が重要だそうで、同社には長年の製品開発での経験があるのも強みだった。

3年余を経て、毛髪1本1本に付着した微細なパウダー同士が密着することでヘアスタイルを維持し、何度でもリセットできる製品ができた。ヘアサロンでも試してもらい、いよいよ発売になったが、前例のないパウダースタイリング剤ということ、当初は販促に苦労したという。営業社員が自ら実演して機能をアピールするなど、発売1年を経た頃には一挙に売り上げが伸びた。現在では大手化粧品メーカーもパウダーを使ったスタイリング剤を出しているが、デザインファクトリーは特許によって先進的な技術とブランドを守り、優位性を獲得している。

「利益を得られるのはアイデアを生み出し、パテントを持ったところでしょ。中小企業にとってパテントはとても重要」と竹鼻さんは特許を位置づける。同社はデザインファクトリーの開発で蓄積した疎水性シリカパウダーのデータを活用して、次々と新製品を開発している。竹鼻さんは「優れた製品は世界でも売れる。そのために国際特許出願も積極的にしていきたい」と、知財による国際戦略も練っている。

株式会社菊星はヘアサロン向け製品の総合商社として90年に及ぶ歴史を持つだけでなく、創業当初から化粧品や美容器具などの自社開発に力を入れてきたメーカーでもある。

同社が2011年に発売したヘアスタイリング剤「デザインファクトリーパウダーロック」は、さらっとした手触りでありながら再整髪可能という、業界が目指してきたスタイリング剤の機能を実現した。その技術の要は疎水性シリカパウダーだ。

2000年代後半、ヘアスタイルに自然な感じが求められるようになった。同社代表取締役の竹鼻実樹さんは「自然

な髪の流れをつくるのにワックスは向き。べたつきのないスタイリング剤が求められると考えて、パウダーに着目しました」と開発のきっかけを語る。

それまで化粧品やヘアケア製品には親水性シリカパウダーが利用されてきたが、同社は疎水性シリカパウダーに注目した。製品化に向けた研究では、パウダーの粒子がナノ(nm)サイズとミクロン(μ m)サイズでは性質が正反対で、粒子の形状によってもスタイリング力が異なることがわかった。この未知の素材について多様な文献に当たったほか、さまざまな研究機関の協力や専門家の助言を仰いだという。

開発を始めた頃、ナノ(nm)サイズの粒子は細胞内に侵入する可能性があるとして、健康被害の懸念がヨーロッパを中心に議論されていた。リスクはないと確信できるまで調べて「ナノ(nm)サイズでいくと決断する」のが最も難しかったと竹鼻さんは振り返る。

そこから実現したい機能を得られるまで、多種多様な粒子の大きさ、形状と、添加するエタノールなどの配合を数千種類試した。開発を担当した同社マーケティング部研究室室長の西岡靖裕さんは、パウダーの番手や配合を変えては自らの髪、あるいは人毛のウィッグにつけてスタイリング力や手触りなどを検



「越前竹人形」は、福井県を代表する竹工芸品です。「越前竹人形」の起源は戦後。竹籠や花器を作ることを稼業としていた竹細工職人が、廃材の再利用をかねて遊び心から人形を作り始めたのがきっかけでした。現在、その技は芸術の域まで昇華され、平成18年には故師田黎明氏の作品がエルミタージュ美術館に収蔵されたほか、モナコ公国名誉賞等の数々の受賞歴を持ちます。

「越前竹人形」には清楚で凛とした美しさがあります。まず目を惹くのがつややかな竹髪。この竹髪は、真竹の竹筒を0.2mm以下まで割き続けて髪のような細さにすることで製作されます。1体の人形に対して、このように作製された竹髪が約五千本から七千本ほど植え付けられます。まさに髪は女の命です。

清楚な印象のためには襟元も重要です。人形の襟元は、竹筒を2本3本と隙間なく重ね合わせることで製作されます(胴詰め法)。襟元の表情の出し方によって、人形の華やかさ幼さ色香を自在に表現することができます。

天然竹には全く同じ形状は存在せず、筒形や節の長さ大きさ、乾燥させた際の皺の入り方等それぞれに個性があります。そんな個性豊かな天然竹を使用して職人の手作業で作製される「越前竹人形」は、凛とした美しさだけでなく、工芸品としての素朴さ暖かさを私達に伝えてくれます。

福井県坂井市の「越前竹人形の里」では、名匠による多くの作品が展示されているほか、職人による人形の製作風景を見学することもできます。



※このコーナーに掲載御希望の方は、「特産品」のプロフィール・連絡先を FAX:03-3519-2706又はメール:panf@jpaa.or.jpまでお送りください。



第5話

アニメの特許発明

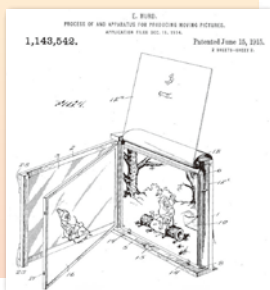
クールジャパンの重要な牽引役となっている日本のアニメ産業ですが、

やはりそのルーツは映画を発明した国、アメリカにあります。透明シートに絵を描き、背景と分離した作業を可能にした、いわゆるセル画方式アニメは特許発明でした。

アール・ハード(Earl Hurd)が 1915年に取得した1,143,542号米国特許がそれです。彼は、アニメ制作の分業方式を確立した、ジョン・ラドルフ・ブレイ(John Randolph Bray)とともにアニメーション制作会社を経営し、「Bobby Bumps」など数々の人気アニメを制作しましたが、この特許は、彼らが別途設立した特許ライセンス会社に収益をもたらしました。

米国の特許期間は登録日より17年ですから、同特許は、ミッキーマウスのデビュー作となった「蒸気船ウィリー」(1928年)制作時にも存在していたと思われます。

(中川裕幸)



知っておきたい!この技術



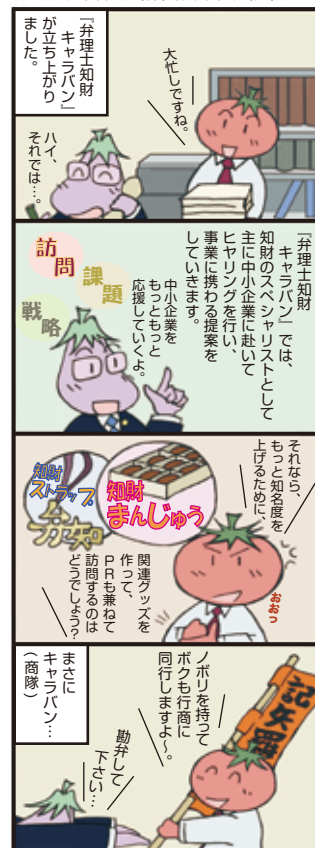
シリーズ
22

藻類 バイオマス燃料



経済産業省は「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けたバイオジェット燃料の導入までの道筋検討委員会」を7月に立ち上げた。航空輸送の拡大に伴うCO₂排出量増加に対し、国際航空運送協会(IATA)などは、20年以降のCO₂排出量増加ゼロを公約とし、欧米では一部の商用運行でバイオ燃料が導入されている。ブラジルは14年のサッカーW杯に続き、来年のリオ五輪でも選手団などの航空輸送にバイオ燃料を使用することを計画している。

バイオ燃料で遅れをとっている日本にとって、20年の東京五輪は取り組みをアピールする絶好の機会となる。注目されるのが、日本で実用段階まで研究が進んでいる、微細藻類を利用したバイオ燃料生産である。バイオ燃料の原料には都市ゴミ、廃食用油、林地残材なども挙げられるが、得られる燃料の品質を一定にするのが容易ではない。脂質を産生する藻類を培養して得られる燃料は、安定した品質を保持できるのが利点だ。今後の課題として量産体制の構築、国際規格をクリアできる改質技術、サプライチェーンの確立などが挙げられる。



中小企業の開発部に在席しています。今後の技術開発のために特許調査をしていたところ、弊社の既存技術と同じ技術について大企業が特許権を取得したことがわかりました。1か月ほど前に登録になったようです。弊社の既存技術は、数年前から公知になっていいますので、特許になるものではないと思っています。このような技術が特許になってしまった場合に、簡易な手続きで特許付与の見直しを図るような制度はないでしょうか？



登録が1か月ほど前であれば、特許異議申立制度が利用できます。特許異議申立制度は、特許付与後であっても、特許掲載公報の発行の日

から6か月以内に限り、特許庁が、第三者からの申立てを受け付けて、特許付与の見直しを図る制度です。特許異議申立の審理は、書面で行いますので、特許庁へ足を運び口頭で意見を述べる必要はありません。また、申立て後は、特許庁と特許権者との間で手続きが進行していくことになりますが、特許権者が発明の内容を訂正する場合には、申立人からも意見を提出することができます。特許異議申立制度は、中小企業にも使いやすい手続き負担の少ない特許付与見直しの制度となっています。

◎このコーナーでは知的財産権に関する皆さまの質問にお答えします。質問事項を記載して、下記の住所にハガキ、FAX.03-3519-2706又はメール panf@jpaa.or.jp で日本弁理士会 広報・支援室「Q&A係」までお送りください。

特許庁からのお知らせ

「PCT国際調査及び予備審査ハンドブック」を作成しました

JPOは、PCT国際出願に関する業務手順や判断基準について、図解を加えて詳細かつ総合的にまとめた世界に類のない業務指針として、「PCT国際調査及び予備審査ハンドブック」を新たに作成しました。JPOによる国際調査及び予備審査の運用の透明性を高めることにより、出願人がPCT制度を活用しやすくなり、また、JPOによる国際調査及び予備審査に対する外国特許庁からの信頼が得られることが期待されます。

本ハンドブックのポイントは、次のとおりです。

- ① 図表を用いた、PCT制度の全体像や国際調査及び予備審査に関する審査官の業務手順についての解説
- ② 出願人が国際調査及び予備審査に関して受け取る各書類の記載内容の解説
- ③ 「特許・実用新案審査基準」との関係を示しつつ、審査官の判断基準を解説

PCT国際出願を行う際には、ぜひ本ハンドブックをご活用下さい。

●本ハンドブックの詳細につきましては、以下の特許庁ホームページをご覧ください。

http://www.jpo.go.jp/shiryoku/kijun/kijun2/pct_handbook.htm

弁理士をお探しですか？

～「弁理士ナビ」をご活用ください～

日本弁理士会は、弁理士や特許事務所の情報を様々な条件やキーワードで検索して探すことができるwebサービス「弁理士ナビ」を提供しています。

次のような条件で、貴方が必要とする弁理士を探すことが可能です。

弁理士に相談したいが、誰に相談したらよいか分からないときなどに、是非ともご利用ください！

- * 地域
- * 専門分野、技術分野(フリーワード検索も可)
- * 取扱業務
- * 訴訟経験
- * 研修受講歴
(受講研修名、受講研修分野、研修未受講者)
- * 中小ベンチャー/大学の支援実績



▲弁理士ナビトップ画面

弁理士ナビ 検索 <http://www.benrishi-navi.com/>